

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年1月27日

【会社名】 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

【英訳名】 GS Yuasa Corporation

【代表者の役職氏名】 取締役社長 依田 誠

【本店の所在の場所】 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地

【電話番号】 075 (312) 1211

【事務連絡者氏名】 取締役コーポレート室長 中川 敏幸

【最寄りの連絡場所】 東京支社 東京都港区芝公園一丁目7番13号

【電話番号】 03 (5402) 5800

【事務連絡者氏名】 株式会社 GSユアサ
東京支社担当部長 松尾 久

【縦覧に供する場所】 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション 東京支社
(東京都港区芝公園一丁目7番13号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

連結会社の財政状態・経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第19号の規定に基づき提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日
平成26年1月27日

(2) 当該事象の内容

当社の連結子会社である㈱リチウムエナジー ジャパンは、主要得意先である三菱自動車工業㈱が同社製品に搭載されている車載用リチウムイオン電池の不具合に関するリコールの届出を行ったことを受け、サプライヤーとしての対応に関連し、平成26年3月期第1四半期において当該リコール関連損失をその時点で入手可能な情報に基づき合理的に見積もり、30億円の特別損失を計上いたしました。その後、三菱自動車工業㈱と協議を重ねた結果、㈱リチウムエナジー ジャパンの負担額の確定及びその他追加費用等の計上により、新たに特別損失を計上する見込です。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

平成26年3月期第1四半期において計上した30億円に加え、新たに37億円程度（累計では67億円程度）の特別損失を計上する見込です。

なお、同社に対する当社持分比率は51%であり、連結当期純利益への影響もこの比率に応じたものとなります。

以 上